

会社	会社名	清水建設株式会社		
概要	従業員数	10,819名	業種	建設業

1. ねらい

当社の「企業倫理行動規範」の第一番目にある「人を大切にする企業の実現」に向け、多様な人材が生き生きと働き、その能力を発揮できるよう、ワーク・ライフ・バランス推進施策に取り組んでいる。

2. 施策内容

①ワーク・ライフ・バランス推進施策

- 法定超の休業・時短勤務制度（育休：2歳まで、時短：小学三年生まで、子の看護休暇；小学校六年生まで）
- 産前産後休業・子の看護休暇の有給化
- 各制度の柔軟化（育休：保育園が見つからない場合などには2歳を超えて延長可とする、時短：10分単位での設定を可とする）
- 出産・育児等による転勤猶予措置や退職者の再雇用制度
- 育児休職者の円滑な職場復帰支援（専任相談窓口の設置、自宅での社内イントラ閲覧等）
- ベビーシッター利用の補助
- 社内ダイバーシティ推進ホームページに、ワーク・ライフ・バランス推進施策について一覧として掲載

②長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進

- 部門・部署・事業所（現場）単位で、一定時刻以降の時間外労働を行わないよう呼びかけ（ノー残業デー・ロー残業デー）
- 新任役職者向け研修時に、労働時間についての講義を実施
- TV会議システムの導入により、遠方での会議の出席に要する移動時間を削減
- 年休の取得日数、残日数を勤務表システム上で各従業員に表示
- 半日単位の年休・代休導入
- GW休暇・夏季休暇における計画年休の設定
- 退社時間をPC機器や行先表示板に表示するツールの活用（帰宅時間申告ボード）
- 部門単位での事業所巡回（労働時間合理化推進パトロール）
- 土曜閉所推進活動
- 会議資料等の削減検討委員会の設置（時づくり委員会）

③男性の仕事と育児・子育て両立支援

- 男性の育児休業取得事例のCSR報告書、ホームページ等による水平展開
- 配偶者出産時の、有給での慶弔休暇付与（2日+最短往復日数）
- 両立支援に向けた男性自身の働き方の見直しについて、経営トップが年始メッセージ等で言及
- 部下の育児支援や育成に積極的に取り組む「イクボス」を表彰する「イクボスアワード」の開催
- ダイバーシティ・マネジメント講演会の開催

④仕事と介護の両立支援

- 法定超の休業・時短勤務制度（休業・時短併せて通算365日）
- 介護目的の年次有給休暇繰り越し
- 社内ダイバーシティ推進ホームページに、仕事と介護の両立支援施策について一覧として掲載

3. 取組実績・効果

男性育休取得者数：2014年度実績 2名（前年度 0名）

女性育休取得率：100%（前年度 97.3%）

女性管理職数：2014年度 33名（前年度 19名）

計画年休導入による年休取得率の向上：平成22年度（計画年休導入前） 21.5%
→平成26年度 32.9%